

◆ 令和5年度 部長マニフェスト ◆ 教育部長

部の概要			
所属課と人員 (R5.4.1現在)	教育総務課(教育施設担当含む)・教育指導支援課(指導担当含む)・生涯学習課・新学校給食センター開設準備室・学校給食センター・図書館・公民館	365人	

**部の運営方針**

教育委員会の基本目標：学校教育、社会教育の連携の下、子どもたちが個人の尊厳を重んじるとともに、公共の精神を尊び、豊かな人間性と創造性を備えた人間へと成長することを目指し、文教都市「国立」にふさわしい学校教育の充実を図ります。また、社会教育を充実し、生涯を通じ、あらゆる場で学習できる生涯学習社会の実現を図ります。(平成28年4月26日国立市教育委員会決定)

基本方針1. 人権尊重の精神と社会性の育成  
 2. 生きる力をはぐくむ学校教育の推進  
 3. 地域と共にある開かれた学校づくりの推進  
 4. 生涯学習の振興

令和5年度の重点項目

No.	項目	具体的内容	達成状況(年度末評価)	達成度
1	フルインクルーシブ教育の推進	国立市が目指すフルインクルーシブ教育について、スーパーバイザーからの助言を受けながら、学校・保護者・地域・関係機関と協議を重ね、具体的なビジョン(ロードマップ)の検討を進めていきます。また、学校現場での実践を通して成果と課題を明らかにし、教員との共通理解を図ります。	市民、保護者等を対象としたワークショップ(国立市のフルインクルーシブ教育を考える会)を4回、内部の検討委員会を5回、教員を対象とした研修を2回を行い、適宜スーパーバイザーの助言を受けながら、国立市のフルインクルーシブ教育の方向性の案を形にしてきたが、多方面から様々な考えのご意見をいただくことを踏まえ、丁寧な議論を積み重ねる必要があると判断し、検討を継続していきます。また、学校現場の実践を通して、一定の成果や課題の共有が図られました。	C
2	学校生活に困難を抱える児童・生徒への支援の充実	子ども家庭部と連携しながら多様な学びの場の整備をはじめ、不登校児童・生徒への多面的な支援の在り方について検討・実施します。また、10月より総合教育センターを開設し、相談機能の充実及び児童・生徒への重層的かつ迅速な支援などを行っていきます。	子どもたちの学校外の居場所について、出席扱いに関するガイドラインを策定しました。このことにより、教員の学校外の学びの場で過ごすことへの理解が進みました。また、10月には予定どおり総合教育センターを開設し、運営も軌道に乗ってきています。今後、児童・生徒への重層的な支援をより充実させることに取り組んでいきます。	B
3	食育推進・給食ステーション整備事業	要求水準及び事業契約に基づき施設の建設が行われるよう、適切にモニタリングを実施します。また、施設の維持管理運営マニュアルや緊急時の事業継続計画を策定するとともに、2学期からのアレルギー対応食を含む給食提供を適切に実施します。	・要求水準及び事業契約に基づき、施設の建設を完了しました。また、適切に建設に関する工事が行われるようモニタリングを実施し、結果については、ホームページで公表しました。 ・2学期から稼働した食育推進・給食ステーションについては、アレルギー対応食も含め順調に給食提供ができました。また、災害時の事業継続計画を策定し、緊急対応についても取組を進めました。	A
4	学校改築事業	実施設計に基づき第二小学校改築工事を行い、また、学校、市民、保護者、関係団体、工事受注者等と意見の整合を図り、でき得る樹木の保存や適切な植栽を行っていきます。また、学校施設のグラウンドデザインを定める学校施設整備基本方針の見直しを検討していきます。	実施設計に基づき、第二小学校改築工事を進めました。また、令和5年11月に策定した国立市学校施設整備基本方針改定庁内検討委員会設置要綱に基づき、第二小学校改築事業において課題となった点などを踏まえ、検討会の議論を経て改正素案の作成を進めました。	B

5	旧本田家住宅解体復元事業の円滑な進行	東京都の文化財指定を受けた旧本田家住宅復元工事に向け、実施設計を完了させ、復元工事に着手します。また、年度内に利活用計画を策定します。	東京都の文化財指定を受けた旧本田家住宅の復元工事実施設計を完了させ、9月に復元工事に着手しました。また、利活用計画関係では、工事や調査等の対応で手が回らず、工事説明会時の利活用に関する意見聴取等にともどり、利活用計画の策定に至ることができませんでした。	C
6	ライフステージと市民ニーズに沿った学習機会の充実	市民の主体的な学習の支援を目的として、多様なライフステージと市民ニーズを反映した講座を実施します。また、利用者の裾野を広げることを視野に、多様なテーマの講座を実施するとともに、オンライン方式も活用し、多様な学習機会を提供します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの講座を実施する中、人権や多文化共生など現代的課題の講座に取り組みました。なかでも、関東大震災100年の節目を特集した、連続講座・都施設見学会・地域防災講座は好評を博しました。また、年度末実施のイスラエル・ガザ紛争関係の講座は時宜を得ているとして評価を得ました。</li> <li>・職員は意欲的に企画運営し多くの講座を実施しており、利用者の裾野が広がっていると捉えています。</li> </ul>	A
7	第四次国立市子ども読書活動推進計画の策定	言語力の向上や創造力の育成に役立つ幼少期からの読書を、引き続き効果的に推進するため、第四次国立市子ども読書活動推進計画を策定します。	幼少期からの読書活動に結びつくような環境整備や多様な子どもたちの読書推進を目指し、第四次国立市子ども読書活動推進計画を策定しました。4月より計画を始動させていきます。	A

【達成度】 A…100% B…80%以上100%未満 C…50%以上80%未満 D25%以上50%未満 E25%未満